

開会 令和5年6月29日

閉会 令和5年6月29日

足利市教育委員会定例会

足利市教育委員会

令和5年第8回足利市教育委員会定例会会議録

足利市教育委員会 教育長 須藤 秀幸は、令和5年6月29日、令和5年第8回足利市教育委員会定例会を足利市役所に招集した。

- 1 出席委員は、次のとおりである。(5名)

教育長

須藤 秀幸

教育委員

笠原 健一	木村 知巳
松村 由紀	野口 直美

- 1 会議事件の説明に出席したのは、次のとおりである。

教育次長	田口 勝將	教育総務課長	石井 邦弘
生涯学習課長	齋藤 由美	市立図書館長	櫛田 弘樹
学校管理課長	腰高 浩	学校給食課長	清水 信博
文化課長	松葉 範幸	市立美術館長	片柳 孝夫
史跡足利学校所長	塩島 啓嗣	学校教育課長	岡部 陽一
総括主幹	中村 等		

- 1 本委員会の書記は、次のとおりである。

戸叶 智尚

- 1 傍聴者 なし

本日の会議日程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 報告事項について
(教育総務課、生涯学習課、市立図書館)

日程第3 議案第13号
足利市社会教育委員の委嘱について

日程第4 議案第14号
足利市青少年問題協議会委員の任命について

日程第5 議案第15号
足利市少年指導運営協議会委員の委嘱について

日程第6 議案第16号
足利市民文化賞選考委員会委員の任命について

開 会 午後1時30分

須藤教育長

ただいまから、第8回足利市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名について

笠原委員 松村委員

以上のとおり、指名することについて異議なく了承される。

須藤教育長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい案件があります。

日程第3「議案第13号 足利市社会教育委員の委嘱について」から日程第6「議案第16号 足利市民文化賞選考委員会委員の任命について」は、人事案件であります。よって、この4件は、非公開として行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしとの発言あり)

以上のとおり、非公開で行うことについて、異議なく了承される。

日程第2 報告事項について

日程第2「報告事項について」を議題とします。説明は簡潔明瞭にお願いいたします。

【令和5年第3回市議会定例会一般質問及び答弁について 資料No.1】

(中村庶務担当総括主幹が説明)

笠原教育委員

24ページの尾関議員の再質問のところで、国の少子化対策モデル自治体に選定されたということですが、具体的にはどのようなものであるのか、もう少し詳しく教えていただきたい。

田口教育次長

今後、総合政策課が内閣府の支援を受けて行う事業です。出生率など、足利市が持つデータを分析した上で実施するもので、尾関議員からはモデル自治体に選定されたとの発言がありましたが、補助金等が交付されるものではなく、助言を受けながら少子化対策を実施していくという制度に手を挙げて取り組んでいくものです。答弁をさせていただいたとおり、モデル事業になるものではないという判断になります。

木村教育委員

2ページの金子議員の不登校の問題に関してお聞きします。学校に行くことのできない子供たちが295名いるということですが、こういったところでフリースクールを作るということについて、今後様々な事例や情報を収集しながら研究を進めていくとのことですが、是非早い時期にフリースクールを作っていただきたいと思っています。私の知る範囲でも不登校の子供がいます。不登校のまま、子供たちが社会に出ていくというのは非常に大きな問題なのかなと思いますので、フリースクールに関しては、足利市として早く取り組んでほしい。もし、具体的な見通し等があれば教えていただきたい。

岡部学校教育課長

金子議員への答弁にもありますとおり、295名の児童生徒が令和3年度に不登校という実態があります。この不登校というのは、年間30日以上欠席という定義ですので、例えば1週間のうち4日間登校して2日休む。少し学校に行ってもまた休む。これが繰り返されて30日以上になった場合、不登校としてカウントされます。しかしながら、学校に行く努力をしても、学校に行きたくてもまだ行くことのできない状況の児童生徒が、これだけの数いることも事実であります。今、フリースクールというお話がありましたが、現在市内にフリースクールというふうに銘打っているところはありません。従いまして、フリース

クールということは他市にありますので、現在は他市の状況等を確認しながら、先進事例を収集しながら研究を進めていきたいと思っております。まだ、足利市としてフリースクールを作るかというところには至っておりません。

木村教育委員

これから情報収集しながらということだと思っておりますが、是非早いうちにフリースクールの開設であるとか、できるように計画を立てていただいて、財務スケジュール的なものを作っていただいてやっていただければと思います。よろしくをお願いします。

松村教育委員

私からも同じく不登校のことについてお聞きします。3ページに、宇都宮市では子供の居場所づくり事業基本補助金の制度があると記載がありますが、どのようなものか、もう少し詳しく教えていただきたい。あわせて、7ページの教育長の答弁の中に、不登校に悩む子供や保護者に寄り添い、不安や悩みを語り合える関係づくりが重要、そして8ページのところで保護者同士のつながりの場については、活動されている任意団体や他の市町の取組を参考にしながら今後研究していくということですが、教育委員会の中で、教育の分野でできることであるのか、とても心配に思います。是非、何か手立てを打っていただきたいと思っておりますが、宇都宮市のこの居場所づくり事業基本補助金の制度というのはどういった政策なのか、また、保護者同士のつながりを作っていくにあたっては、教育分野というよりは福祉分野と強く連携していかなければならないと思っておりますので、そういったことをどのようにお考えかお聞きしたい。

岡部学校教育課長

1点目の宇都宮市の子供の居場所づくり事業基本補助金についてですが、宇都宮市では寄付を募り、それをもとにフリースクールなど開設する方に対して、上限を設定した上で補助金を出して、開設いただくという運用がなされていると聞いています。所管部署はわかりませんが、概要としてはそのような補助金制度と把握しているところです。2点目の保護者同士のつながりということですが、質問された議員の意図としては、不登校の児童生徒の保護者は、なかなか相談相手がいない中であって、そうした親同士を市のほうで繋いでいただけないかという趣旨の質問でありました。従いまして、市として繋いでいくためにはどうしたらよいかという点で、他市の取組等を参考にしながら研究していきたいという答弁の趣旨を作成したところです。

松村教育委員

ありがとうございます。市として、保護者同士を繋いでいくという動きをする中には、教育委員会と他の課が連携していかなければいけないのではないかと思います。その辺について今後の考えがあればお聞きしたい。

岡部学校教育課長

委員ご指摘のとおり、一つの課だけでは難しいと思います。研究中ですので、どこの課というのは申し上げられませんが、研究の中で、課と課の連携については考えてまいりたいと思います。

松村教育委員

ありがとうございます。295名という大変な数の児童生徒が、学校に通えなくて困っているということですので、是非進めていっていただけたらと思います。よろしくお願いします。

笠原教育委員

27ページ、栗原議員の質問に対する教育長の答弁についてですが、まさしく教育長の思いや信念が端的に表現されていて、素晴らしい答弁をしていただきました。私たち教育委員としても歓迎したいと思っています。やはり、思いが先にあって、それをどうやって実現するか、形にするかということだと思いますので、こういった思いを是非すべての職員が共有して、最善の努力を尽くして、その成り行きを見ながら対策を講じていく。そこの部分を改めてお願いしたいと思います。以上、意見です。

【足利市学校教育環境審議会委員の任命について 資料No.2】

(石井教育総務課長が説明し、質疑なし)

【足利市生涯学習推進委員の任命について 資料No.3】

(齋藤生涯学習課長が説明)

笠原教育委員

生涯学習振興大会は、去年からやり方を変えています。もちろんコロナ禍と

いう前提の中で、やり方や人の集め方が違ってくるといのは当然なのですが、生涯学習振興大会での講演会というのは、公の講演会としては最も大きな規模の講演会であったと思っています。他にもあったかもしれませんが、市民プラザの文化ホールを満席にするという意味では、市内では他に類を見ない規模の講演会であったと思っています。もちろん、お招きする講師の先生への謝礼なども相当であったのだらうと思います。ただ、そういう中での講演会をやってきた中で、ここ数年できていない。今後もそういった形で開催されることもないのかもしれませんが、私はそういう講演会というのは、なかなか民間や一部の団体でやるということにはできないと思うので、せめて年に一度くらいは、もちろん講師の先生をどなたにお願いするか等、いろいろなハードル、また予算面の課題もあろうかと思いますが、もしかするとこの推進委員会の中でそうした議論をする場面があるのかわかりませんが、現状をよしとするということではないと思いますが、一度決めるとそのままということについては私はいかがかと思いますが、生涯学習推進委員会委員の任命の件とは異なりますが、最近佐野でも大きな講演会がありました。コロナが明けたからということもあるのでしょうか。足利もそうした意味で、公的な公費による講演会、大きな講演会が開けていないとするならば、今後どうするのかということ、生涯学習推進委員会の中で議論していただくことをお考えいただきたいと思います。

齋藤生涯学習課長

ご提案ありがとうございます。確かに昨年統合開催になりまして、講演会ではなく、地元の生涯学習奨励賞を受賞された方々の活動報告の動画を上映させていただいています。講演会につきましては、今後委員会の中で検討をさせていただきます。

【足利市立図書館協議会委員の任命について 資料No.4】

(櫛田市立図書館長が説明し、質疑なし)

須藤教育長

それでは、質疑もないようですので、以上のことについては報告として承りたいと思います。

ここからは、先の決定のとおり、会議を非公開で進めます。

日程第3 議案第13号
足利市社会教育委員の委嘱について

(非公開)

須藤教育長

議案第13号については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発言あり)

ご異議ないものと認め、原案のとおり決定いたします。

日程第4 議案第14号
足利市青少年問題協議会委員の任命について

(非公開)

須藤教育長

議案第14号については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発言あり)

ご異議ないものと認め、原案のとおり決定いたします。

日程第5 議案第15号
足利市少年指導運営協議会委員の委嘱について

(非公開)

須藤教育長

議案第15号については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発言あり)

ご異議ないものと認め、原案のとおり決定いたします。

日程第6 議案第16号
足利市民文化賞選考委員会委員の任命について

(非公開)

須藤教育長

議案第16号については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発言あり)

ご異議ないものと認め、原案のとおり決定いたします。

須藤教育長

それでは、これを持ちまして、第8回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 午後2時26分